

第47回

人権交流京都市研究集会

2016年2月27日(土) 午前9時30分〜
会場 大谷大学 講堂・各教室

めざそう！ 共生・協働の社会創造

全体会 午前9時30分〜 大谷大学・講堂

分科会 午後1時30分〜 大谷大学・各教室

*分科会 ①部落と人権 ②共生社会とまちづくり
③教育Ⅰ ④教育Ⅱ ⑤部落の歴史

参加費 2,000円 (昼食代は含まれません)
※事前にお弁当(600円)を申し込んで下さい

主催 第47回人権交流京都市研究集会実行委員会

京都市小学校同和教育研究会 京都市立中学校教育研究会人権教育部会
京都市交通局部落問題研究会 京都府庁部落問題研究会
京都市職員部落問題研究会 京都・東九条CANフォーラム
部落解放同盟京都市協議会

後援 京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会
京都市PTA連絡協議会 京都人権啓発企業連絡会 部落解放同盟京都府連合会

全体集会記念 上映会&講演

映画:「人間みな兄弟」

制作年 1960年 / 上映時間 60分

監督:亀井文雄 原作:杉浦明平

制作:日本ドキュメントフィルムほか



講演:「同対審50年を原点からふりかえる」

妻木進吾 (龍谷大学経営学部准教授)

同和对策審議会答申が出されて50年の歳月が過ぎたということは、答申以降に生まれた世代が、日本社会の大半を占めているという現状を示しています。『同和問題の解決は国の責務であり、同時に国民的課題である』と明確にされた指針は、はたして解決にどれだけ寄与したのか。残された課題とは何なのか。問いに答えるべくは、被差別当事者たちだけではなく、全ての国民(市民)が検証すべきことであることを、答申はまさに伝えているのです。それは歴史であり、試みであり、努力であり、現在も続く営みです。

路地のある「部落」の風景は消え、格差と貧困が社会問題化している今、真に基本的人権が尊重される私たちの未来に向け、原点から振り返ってみたいと思います。

第47回人権交流京都市研究集会

日時 2016年2月27日【土】
全体会＝午前9時30分～正午(受付開始 午前9時)
分科会＝午後1時30分～4時30分

場所 全体会＝大谷大学・講堂
分科会＝大谷大学・2号館・尋源館 各教室

参加費 2,000円(昼食代は含みません)
※弁当は2月15日までに事務局にお申し込み下さい(600円)



- ◇参加を希望される方は、各団体または事務局にお申し込み下さい。当日会場に直接お越しいただいても参加できます。
- ◇手話通訳・保育コーナー(3歳以上)を希望される方は、2月5日までに申し込み下さい。

● 分科会案内 ●

第1分科会 部落と人権 会場＝2号館2301教室

「部落のまちづくりー人づくり 今」

午前の全体会で共有した50年前の被差別部落の姿を念頭に置きつつ、特別措置法が失効してから13年が経過した現在の姿について、報告とシンポジウムを行います。「住宅ストック活用計画」を契機としたハード面のまちづくり、福祉・教育・人づくりのソフト面、二つの側面に光をあて、これまで培ってきた経験を活かした地域の取り組みを報告します。その後「まちづくりー人づくり」の方向性を、部落問題の解決と同時に、格差と貧困が深刻となった現代社会の課題を克服していく道筋として議論します。

第2分科会 共生社会とまちづくり 会場＝尋源館J103教室

「人と人を結ぶまちづくりから多文化共生を考える」

在日韓国・朝鮮人の集住地域である東九条には、フィリピン人・中国人留学生・韓国からのニューカマー等様々なルーツを持つ人々が暮らしている。また障がい者や独居高齢者等社会的弱者と言われる方々も数多く暮らす街となっている。第2分科会では地域で空き家を活用し中国人留学生の居場所づくりを行う山下幹雄さん、中国人留学生の生活支援と地域サポート事業を行う姜直子さん、ホームレス支援に取り組む谷本千里さんからの報告を受け東九条での「多文化共生のまちづくり」の在り方を議論する。

第3分科会 教育Ⅰ 会場＝2号館2201教室

「人権確立をめざす教育創造」

「同和教育の理念として受け継がれてきた一人一人を徹底的に大切に作る教育とは、どのようなものであったか。～児童・生徒への関わり、教育実践、保護者・地域住民への啓発活動を通して、若い世代に引き継いでいくために～」このテーマに向けて会場の皆様と共に考え、意見を交わしたいと思います。各学校・各職場における世代交代が進む中で、先輩教員から学び、若手へ引き継ぐべき教育及び啓発活動について、実践されている取組等を通じて、広く深く考えていく協議を進めます。

第4分科会 教育Ⅱ 会場＝2号館2202教室

「共に生きることをめざして～これからの人権教育の課題と展望を考える～」

同和教育の理念と実践で培ってきたことを基盤に、また、外国人教育で追求・実践されてきたことを踏まえ、「共に生きる」という視点から具体的な議論を行います。実践報告者から、多様化する外国籍児童生徒、外国にルーツをもつ児童生徒を取り巻く現状、アイデンティティの形成並びに自尊感情の育成を目指した取組や児童生徒・家庭への支援等についての実践を報告します。多文化共生のこれからのに向けて、今、何ができるのかということ、参加者の皆様とともに知恵を出し合い、議論を深めます。

第5分科会 部落の歴史 会場＝2号館2101教室

「新たな視点での部落史」

歴史を読み解く視点として、支配階層の動きだけでなく、民衆の視点から見つめ直そうとする研究成果として、学校教科書に描かれる部落史の記述は、2000年代のはじめごろまでに大きく内容が変化しました。かつての教科書で学んだ世代にとっては驚くべき違いがあり、時に自己認識の変更を迫るものもあります。「近代医学の基礎を築いた人々」「明治維新と賤民廃止令」2本の映像を鑑賞し、監修に携わった上杉聰さんの講演を交え、新たな視点での部落史のとらえ方について理解を深めたいと思います。

第47回人権交流京都市研究集会事務局

〒603-8151 京都市北区小山下総町5-1 京都府部落解放センター内

TEL (075)415-1041 FAX (075)432-4485 E-mail: info@kyoken.jp

<http://www.kyoken.jp/index.htm>